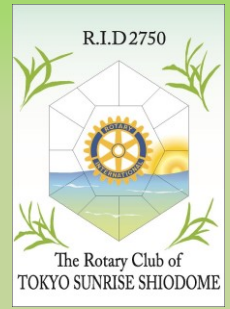


◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I.会長 シェカール・メータ

2021-22年度 会長 熊谷行裕
クラブテーマ「身近な奉仕活動に積極的に参加しよう」

No.296 16 Jun. 2022 発行

第298回 通常例会

【日時】2022年6月9日(木) 12:30~13:30

【例会会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留

【例会出席】会員数 17名 名誉会員 6名 出席者 11名 ビジター 2名 ゲスト 0名

【出席率】64.7% 【修正出席率】70.6%

【ニコニコBOX】¥13,000—

《プログラム》

◇ 開会点鐘

◇ 斉唱：「手に手つないで」

◇ 会長挨拶

東京グローバルRCとは昨年ガバナー公式訪問も始め、キッズフェスタや現在の六郷の支援等も一緒にさせて頂いてもう兄弟クラブだと思っています。本日はよろしくお願い致します。

◇ 幹事報告

いよいよ今月が熊谷年度の締めになります。納会には是非皆さんご参加下さい。

◇ その他報告

梅澤武男会員：先日ヒューストンから帰って参りましたが世界大会に参加してきました。ロータリーワンシカゴロータリー、ポール・ハリスが作ったクラブです。そちらと交流してきました。バナー交換をしてきました。ポール・ハリスのお墓参りもしてきました。

◇ 出席報告

◇ ビジター・ゲスト紹介

宮脇潤子様(東京グローバルRC)：こちらのクラブとは本当に兄弟クラブだと思っております。次年度も一緒に活動させて頂けるのを楽しみにしております。

◇ にこにこBOX

熊谷行裕：今日はフェンシングのお話が聞けるという事で大変楽しみです。宮脇信介様卓話をよろしくお願い致します。奥様のグローバルロータリークラブの宮脇会長、本日は大変有難うございます。

板橋一成：宮脇様そして奥様、と言うより宮脇会長、今日はようこそお越し頂きました。宮脇様卓話を楽しみにしております。

司 会：鹿島孝夫会員
熊谷行裕会長

熊谷行裕会長

板橋一成幹事

鹿島孝夫会員



宮脇潤子様

◆会長：熊谷行裕 ◆幹事：板橋一成 ◆副会長：愛知とし子【発行責任者】

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会会場】ザ ロイヤルパークホテルアイコニック東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

梅澤武男：宮脇様ご無沙汰しております。ようこそおいで頂きました。本日の卓話どうぞよろしくお願ひします。
 立堀佳男：宮脇ご夫妻ようこそいらっしゃいました。フェンシングの卓話楽しみにです。人間ドックの結果が
 出ました。健康だそうです。ニコニコ！
 山本直道：宮脇信介様本日の卓話大変楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひ致します。
 宮脇潤子様(東京グローバル RC)：6月5日に長女が結婚いたしました。慶びをニコニコに！

◇ 卓話『フェンシング協会「改革」～社会の中の新しいスポーツ競技団体の在り方を求めて～』
 スポーツ競技団体に求められる「イノベーション」 東京グローバル RC 宮脇信介様

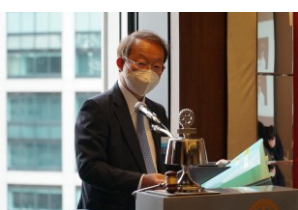
何故フェンシングなのかと申しますと、下の娘が5歳から始めて現在もやっておりますが、私は40歳でしたが一緒に始めました。今は娘の方が上手いです。太田選手から専務理事をやって欲しいとの事で4年やりました。コロナで東京オリンピックが延期になりスポーツは社会の一部だと思い知りました。スポーツを取り巻いている社会が急速に変化していると私は感じております。法律で明文化されていない規範が沢山出てきて社会的に大きな力を持っていると思っています。今トップアスリートには社会をリードするような役割が必要だと思ひます。そして社会がこれだけ変化する中スポーツだけが立ち止まっている事にはリスクがあるとも思ひます。改革を起こすためには2つのものが必要になります。1つは目標です。何を变えたいのか何のためにそれを变える必要があるのか。2つ目はそれを行う手段です。多くのスポーツ団体にこれが無いというのが現状です。勝利主義主義でしたがメダルを取っても試合を見に来る人が増えたわけではありませんでした。具体的にやった事としては、フェンシング協会は年間8億円くらいの予算が有りますが半分は補助金で自分たちで稼げるものは1億円くらいでした。この比率を高めようという事で、全日本の大会をショーケースとして多くの観客を惹きつけるものであれば会社もスポンサーになってもらえるだろうということで、エンターテインメント化を心掛けました。ダンスと融合させる、ビジュアルで分かるようにLEDを使ってどちらが勝ったか分かり易くしたり選手の脈拍数をビジュアルタイムで表示し、マスクで表情が見えないのでそれをビジュアル化しました。これにより単価を引き上げる事が出来ましたが、これは大会収入が目的ではなくフェンシングの価値がこの数字で表せるのであればこれを企業に見てもらいスポンサーになってもらう事でした。課題を新しいスキルやテクノロジーで解決することで大きな利点があります。それと現在のアスリートは社会経験が乏しく苦しんでいる方が多い事が浮き彫りにされました。優勝者以外は敗者になってしまう中勝利至上主義な仕組みが許されるはずはない、スポーツ選手としての喜び、より人間として成熟して社会性を習得する必要があります。選手に自分でスポンサーを探させ、自分でアポを取りプレゼンし契約までこぎつけるという事をさせる事により、社会経験を積むという事で選手を大人にさせるだろうというプロジェクトを行行しました。アスリートフューチャーファーストで選手の人生を喜びのあるものに変えていきたいと思ひています。



宮脇信介様



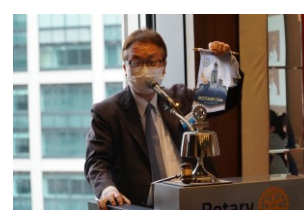
熊谷行裕会長



板橋一成幹事



山本直道会員



梅澤武男会員

◇ 講評

大変内容の深いお話を有難うございました。これは会社経営にも通じるお話でしたし変化を求めて変化に対応していくという事で大変勉強になりました。有難うございました。

熊谷行裕会長

◇ 開会点鐘

《今後の主な行事予定》

- ◇ 6月23日 納会
- ◇ 7月28日 納涼夜間例会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 6月23日 18:00~20:00
- ◇ 6月30日 休会
- ◇ 7月 2日 12:30~13:30